

(1) 中小企業庁長官賞

受賞者名

株式会社昭芝製作所 三原 寛人 殿

受賞取組の概要

株式会社昭芝製作所では、1980 年代よりデジタル技術とロボットの活用に注力し、製造現場の困りごとを内製のデジタル技術で克服してきた。2021 年、社長直轄で若手中心の DX 委員会を立上げ、製造現場で蓄積・精練してきたデジタル技術を外販目標とする、DX Vision「次世代ものづくりのソリューション・プロバイダー化」を掲げた。

内製化されたソリューションは多岐にわたり、具体的にはディープ・ラーニングによる外観検査、RFID による金型管理、出荷現場でのバーコード照合用スマートフォンアプリ、生産進捗のリアルタイム・モニタリング・システムなど、現場ニーズに合わせた継続的なシステム改善も特徴としている。これにより、プレス工程での省人化(26 名分)や間接業務の工数削減(15 名分)を達成し、飛躍的な品質向上と付加価値創出を実現している。RFID 金型管理システムは、今年既に 4 件の受注を獲得しており、販売体制を強化していく方針となっている。また、近隣大学との共同研究でロボットを活用した省人化も推進し、生産現場のデジタル高度化を加速。DX 委員会による活動は、継続的な改善活動と社内表彰制度を通じて企業文化として定着している。

今後は、一般従業員の IT リテラシー向上に向けた社内教育をさらに拡充し、AI・IoT 技術の積極的な活用により、持続的な業容発展を目指している。



プレス工程の自動化



IC タグを使用した金型管理